

# 美術新報第十五卷第六號

## 目次

田崎草雲	石井 柏亭	一
ドナテルロ	水谷 鐵也	八
レーノルヅの藝術と性格	ジェームス・メーゾン	一三
レーノルヅに就て	藤 島 武二	一六
曲江の三大門		一七
佛蘭西燒物の革命		一八
アフロヂターの神話	大 隅 爲三	二一
宗教畫私見	笙 東 生	二七
今春の美術		二九
雜報消息・新刊紹介		三一
挿 畫		
草花版畫 (原色版)	田崎 草雲 筆	巻頭
サント・セシール (エリオチビー)	ドナテルロ 作	一〇
テバンシーア公爵夫人と其子供 (原色版)	レーノルヅ 筆	一七
無邪氣時代		
アフロヂター立像三面 (網目版)	プラキシターレス系の作	二〇
其他本文挿畫	三十一	

## 就任の辭

今回、時間の制限をうけて居なかつた私が本誌の編輯を兒島矢代の兩氏から承け継ぎました。頭が極めて悪い上に事務の方には全く天稟を缺いて居るので讀者が期待せらるゝ様に本誌をより良いものに爲し得るかどうかは全く疑問であります。然し私が最善を盡し 努力しました結果『先づこれならば』と御認め下さる時が來ましたら私の願はそれで足りるのです。内容は我國の學者藝術家以外、更に英佛あたりの大家にも寄稿して貰はう、體裁も追々改めて行かうと考へて居ります。表紙を度々變更するのも美術雜誌としては、餘り好ましくないから、或期に於て表紙圖案を募集して一定したいと思ひます。其間今迄の中で比較的無事なものを代用することに致しましたから悪しからず思召し下さい。私や畫報社の美術新報ではなく愛讀者諸君のものだと云ふ考で編輯に臨みたいと思ひますから、今後何くれとなく私へ宛てゝ御氣付の處を御注意下さるならば誠に幸と存じます。

大 隅 爲 三